

平成 2 9 年 2 月 2 7 日

小金井市長 西岡 真一郎 様

小金井市男女平等推進審議会
会長 佐藤 百合子

第 4 次男女共同参画行動計画の推進及び今後の事業評価と
進捗管理について（提言）

小金井市男女平等推進審議会（第 7 期）は、下記の事項について、別紙の
とおり提言いたします。

記

- 1 審議の経過
- 2 第 4 次男女共同参画行動計画の推進について
 - (1) 男女平等推進審議会における事業評価についての基本的な考え方
 - (2) 平成 2 7 年度実績に対する評価及び意見
- 3 今後の事業評価と進捗管理について
- 4 終わりに

1 審議の経過

小金井市男女平等推進審議会（第7期。以下、「審議会」という。）は平成28年1月23日～平成30年1月22日の2年間を任期とし、任期前半の約1年間で8回開催し、次の2点について審議しました。

(1) （仮称）第5次男女共同参画行動計画（案）について

前期（第6期）審議会において平成27年8月27日に市長から「（仮称）第5次男女共同参画行動計画（案）」について諮問を受け、審議会で引き続き審議しました。これまで取り組んできた施策をさらに推進・発展させるための指針として「第5次男女共同参画行動計画（案）」を作成しました。なお答申案作成にあたっては、次のことを行いました。

ア 小金井市男女平等に関する市民意識調査及び市職員の意識調査（平成27年9月実施）結果の確認・検討

イ 男女共同参画施策推進行政連絡会議と合同開催による（仮称）第5次男女共同参画行動計画策定に係る研修会の実施（平成28年9月）

ウ 市民懇談会の開催（平成28年10月）

エ 素案に対するパブリックコメント（平成28年12月5日～平成29年1月4日）の実施

(2) 第4次男女共同参画行動計画の推進について

小金井市第4次男女共同参画行動計画推進状況調査報告書（以下「報告書」という。）（平成27年度実績）について、事業内容と実施状況の検討・評価を行ったほか、進捗を確認するためにどのような報告記載が望ましいかを審議しました。

2 第4次男女共同参画行動計画の推進について

(1) 男女平等推進審議会における事業評価についての基本的考え方

審議会では、第4次男女共同参画行動計画の計画期間である平成25年度から、計画の進捗管理と評価の仕組みづくりとして、年次毎の報告書について、事業内容に対する質疑・確認を行うとともに改善してほしい点など提言してきました。

審議会が事業を評価するに当たっては、市が目指すべき男女共同参画社会「だれもが互いにその人権を尊重し、認め合い支え合いながら、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができ、また一人ひとりが輝いて生きることができる社会」という考え方に立ち、意見を述べることを改めて申し上げます。

(2) 平成27年度実績に対する評価及び意見

父親の家庭参画を促す事業の工夫や土曜日に事業を実施するなど市民が参加しやすい状況を整えている事業があること、前年実績から男女共同参画の効果のあったと思われる視点が増えている事業があること、特に基本目標Ⅱ「ワーク・ライフ・バランスの実現した暮らしをめざす」においては効果のあった事業が増えたこと、これらは評価できる点と考えます。

効果については他の効果を含むと思われる事業もあり、自己評価が控えめであると思われるものもありました。数の増減で評価を測るものではありませんが、評価の際は今一度、他の効果が無かったか見直すことを望みます。

しかし一方で、例年と全く記載内容が変わらない事業も見受けられました。事業内容は同じでも、どのような理由で例年どおりとなったのか、改善の有無など、自己評価したことがわかるよう記載されることを望みます。

3 今後の事業評価と進捗管理について

審議会では、計画の進捗管理と評価の仕組みづくりのさらなる改善をめざし、効果が把握しやすい報告書を作成して進捗管理を行うことが必要であると確認しました。

事業評価にあたっては、数値を記載することが難しい事業や前年度実績の増減のみで効果が測れないものもあります。数値が測れるものはなるべく記載し、増減があったのか現状維持だったのか把握した上で事業効果がどうであったかを記載することが望ましいです。数値を測れない場合も、どのような理由でいかなる効果があったのかを記載することが重要です。このように記載内容を統一することで、評価のばらつきが少なくなると考えました。

また、具体的な記載方法を示し、評価に対する考え方を共有することで、担当課と審議会双方で評価しやすくなるものと考えました。

そこで、次の2点について提言します。

(1) 報告書について

以下の点を考慮し、報告書を作成する。なお、平成29年度以降の報告書書式については、引き続き審議会において検討し、提案していきたいと考えています。

- ア 実施内容には、目的（対象）・実施方法・結果を記載し、具体的な記載に努める。
- イ 結果については、なるべく客観的に把握できるよう参加者数（できる限り男女別で）、実施回数、配付枚数等を記載するよう努める。
- ウ 効果（達成度）の理由には、前年度実績と比較するなど効果や達成度がわかりやすい記載に努めること。また講演会や講習等集客による事業については、アンケートをとるなど事業効果の把握に努める。
- エ ABCや矢印（↑、↓、→）等で表す自己評価欄を新たに設け、事業の進捗（取組結果・効果）が一目でわかるような記載にする。
- オ 今後の課題や推進の方向性は、次年度の事業予定を記載するなど、次年度の評価の振り返りに活用できるような記載に努める。

(2) 事業ヒアリングの実施について

報告書だけでは把握できない事業内容や事業担当課が抱える課題など、事業担当課と審議会において互いに理解を深めるため、ヒアリングを実施する。なお、実施方法については、以下のとおり提案します。

ア 実施対象事業

重点施策もしくは審議会において必要と決めた事業

イ 実施方法等

審議会開催時にヒアリングを行うものとする。質問項目等については事前に照会し、事業担当課において回答いただいた内容をもとにヒアリングを行う。

4 終わりに

平成29年度から第5次男女共同参画行動計画に基づく新たな施策が行われます。この度の提言を受け、市が審議会とともに目標達成に向け取り組まれることを願います。

小金井市男女平等推進審議会（第7期）委員名簿

会長	佐藤 百合子
副会長	遠座 知恵
委員	浦野 知美
	小野寺 千鶴子
	神田 正美
	瀬上 ゆき
	濱野 智徳
	日野 絵里子
	本川 交
	宮浦 千里

（敬称省略）名簿は各五十音順